

エコアクション21

環境活動レポート

丸安運輸株式会社

平成30年 4月 27日作成
(実施期間平成29年 4月 ~平成30年 3月)

目 次

1. 環境方針

2. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
- (2) 所在地
- (3) 環境管理責任者及び連絡先
- (4) 事業活動
- (5) 事業規模
- (6) 産業廃棄物収集運搬実績
- (7) 許認可内容
- (8) 所有設備
- (9) 業務工程図
- (10) 貨物運送及び産業廃棄物収集運搬料金
- (11) 対象範囲
- (12) 組織図

3. 環境目標

4. 環境活動計画

5. 環境目標の実績

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

8. 代表者の全体評価と見直し結果

環 境 方 針

<環境理念>

私たちは、貨物運送及び産業廃棄物収集運搬の事業活動を通じて地球環境を守るために出来るだけ環境負荷の低減に努め、地球温暖化防止と循環型社会の実現に向けた活動を自主的、積極的に継続して取り組みます。

<環境方針>

1. 環境関連法規及び当社が同意する要求事項を遵守します。
2. 全ての事業活動において、次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め、実施します。
 - ① エコドライブを推進し、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 省エネルギーに取組、電力使用量を削減します。
 - ③ 分別の徹底・リサイクルの推進により廃棄物排出量を削減します。
 - ④ 節水により水使用量を削減します。
 - ⑤ 事務用品等のグリーン購入に努めます。
 - ⑥ 貨物運送、産業廃棄物収集運搬での安全・エコ活動を推進します。
 - ⑦ 社会貢献活動を積極的に行います。
3. この方針を全社員に周知・徹底し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

平成26年10月 1日 制定

丸安運輸株式会社

代表取締役 青山勝征

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者

丸安運輸株式会社
代表取締役 青山 勝征

(2) 所在地

本社 : 愛知県名古屋市南区港東通2-18
TEL 052-611-1201 FAX 052-611-5011
昭和町営業所 : 愛知県名古屋市港区昭和町19
TEL 052-611-1453 FAX 052-613-3936

(3) 環境管理責任者連絡先

環境管理責任者 : 青山勝征
本社 TEL 052-611-1201 FAX 052-611-5011
E-mail : maruyasu@asua.net

(4) 事業活動の内容

一般貨物運送事業、産業廃棄物収集運搬業

(5) 事業規模

法人設立 : 昭和26年11月21日
資本金 : 2,500万円
売上 : 5億円(平成29年9月期)
従業員 : 55名(平成30年4月現在)
本社 : 敷地面積 209m²(床面積 311m²)
昭和町営業所 : 敷地面積 6,586m²(床面積 165m²)

(6) 産業廃棄物収集運搬実績

産業廃棄物収集運搬量 7,632t(平成30年度)
特別管理産業廃棄物収集運搬量 1t(平成30年度)

(7) 許認可内容

貨物運送業 名陸自第 5159 号 利用運送事業 名陸自 貨-265 号

産業廃棄物収集運搬業 (積替保管なし)

自治体	許可年月日	許可期限	許可番号	許可品目
愛知県 (優良認定)	29.4.21	36.4.20	2300001380	燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・ 木くず・繊維くず・金属くず・ ガラ陶・がれき類・鉱さい・ ダスト類・廃酸・廃アルカリ・ 廃油・動植物性残さ・ゴムくず
岐阜県	28.2.9	33.1.30	2100001380	燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・ 木くず・繊維くず・金属くず・ ガラ陶・がれき類・鉱さい・ ダスト類・廃酸・廃アルカリ・ 廃油・動植物性残さ・ゴムくず
三重県	28.9.1	33.8.4	2400001380	汚泥・廃プラ・紙くず・木くず・ 繊維くず・ゴムくず・金属くず・ ガラ陶・鉱さい・がれき類
静岡県	28.2.23	33.2.22	2201001380	汚泥・廃プラ・金属くず・ ガラ陶・鉱さい
富山県	26.6.18	31.6.17	1606001380	廃プラ・金属くず・ガラ陶・ 鉱さい
大阪府	27.10.23	32.10.22	2700001380	燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・ 木くず・繊維くず・金属くず・ ガラ陶・がれき類・鉱さい・ ダスト類・廃酸・廃アルカリ・ 廃油・動植物性残さ・ゴムくず
石川県	28.6.2	33.6.1	01706001380	廃プラ・木くず・金属くず・ガラ陶 鉱さい

奈良県	29.12.12	34.12.11	02900001380	廃プラ・金属くず・ガラ陶
愛知県 (特管)	26.6.18	31.6.17	2350001380	特定有害ダスト類 (カドミウム・鉛・6価クロム)

(8) 保有設備

大型ウイング	7台	大型ダンプ	8台
大型パッカー	9台	中型ウイング	3台
中型ユニック	2台	中型パッカー	7台
中型フックロール	2台	中型平ボディー	2台
3tバン	1台	2tアルミバン	2台
小型パッカー	1台	1tバン	6台
		合計	50台

(9) 産業廃棄物収集運搬工程図

排出事業者→収集依頼→配車→事業所内積込→指定中間処理場へ搬入

(10) 貨物運送料金及び産業廃棄物収集運搬料金 車輛基本単価

走行距離・作業内容(積込作業・納品等降し作業)・待機の有無等で料金を決定致しますが、基本は下記時間単価がベースになります。

1tバン	3,125～3,500円/時
2tバン	3,250～4,000円/時
4tウイング	4,000～4,500円/時
フック・ユニック	4,200～5,750円/時
大型パッカー	4,200～5,750円/時
大型ダンプ	5,000～6,000円/時
増トンウイング	5,625～6,875円/時

見積のご依頼は、当社運輸部までご連絡下さい。

電話052-611-1453

Mail: maruyasu-unyu@asua.net

(11) 対象範囲

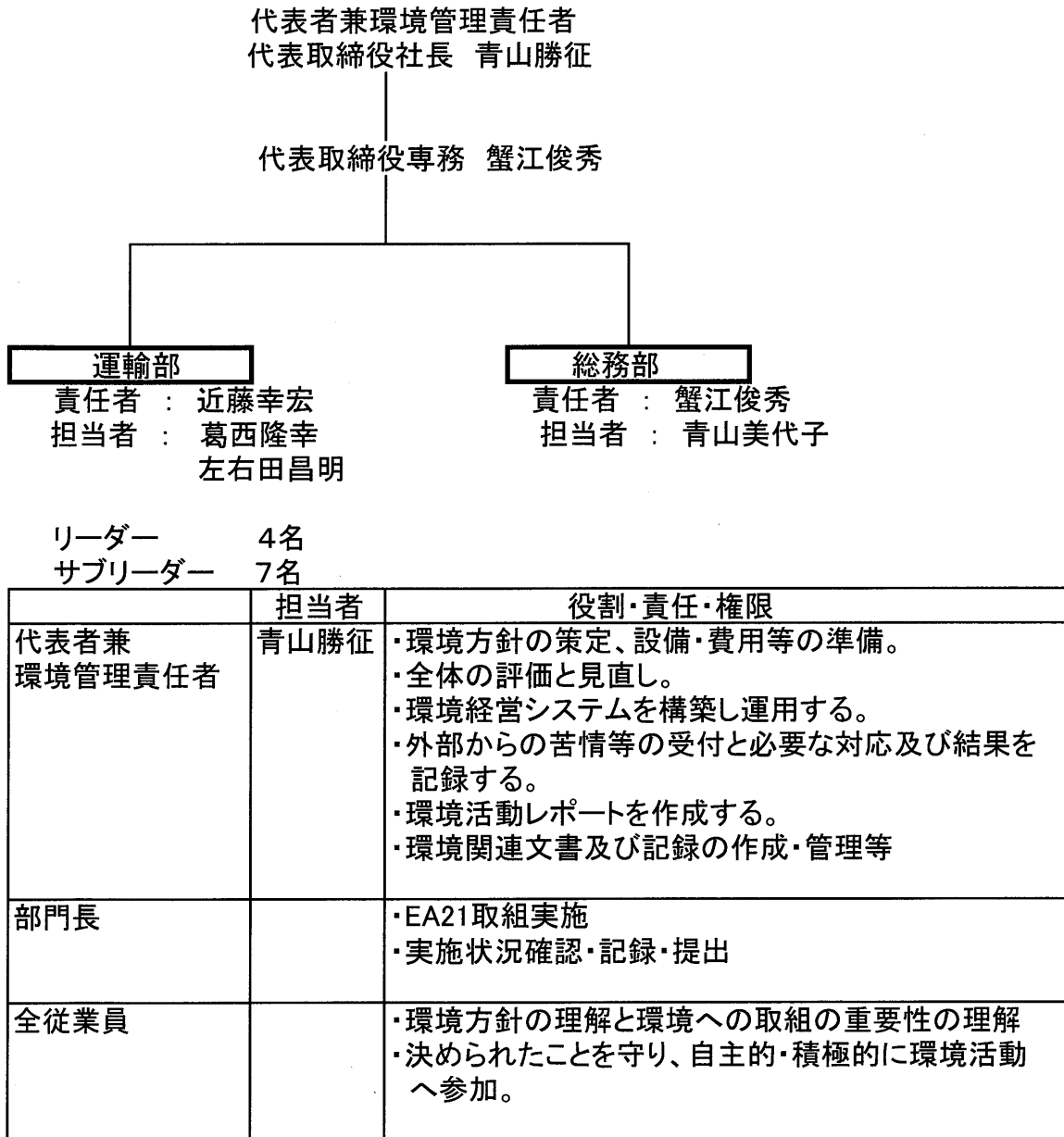
対象組織 : 全組織
対象活動 : 事業活動の内容

(12) EA21組織図

作成日 : 平成30年 4月27日
 作成者 : 青山勝征

(EA21実施体制)

総数 55名



作成日:平成28年 4月28日
作成者:青山勝征

3. 環境目標

平成27年度(平成27年 4月～平成28年3月)実績を基準年度として以下に環境負荷の削減目標を示します。

環境目標		単位	平成27年度 (27.4～28.3) 実績	平成28年度 (28.4～29.3) 1%削減	平成29年度 (29.4～30.3) 2%削減	平成30年度 (30.4～31.3) 3%削減
二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,235,637	1,223,281	1,210,924	1,198,568
	の削減	kg-CO2/百万円	2,481	2,456	2,431	2,407
廃棄物の排出量 の削減削減	電力の使用量削減	kwh	40,266	39,863	39,461	39,058
	軽油の使用量削減	L	462,467	457,842	453,218	448,593
	一般廃棄物排出量削減	kg	735	728	720	713
水使用量の削減	産業廃棄物排出量削減	kg	6,735	6,668	6,600	6,533
	水使用量の削減	m3	907	898	889	880
グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	品目数	運用	運用	運用	運用
運送・運搬の環境配慮	安全・エコ活動の推進	—	推進	推進	推進	推進
社会貢献活動の推進	車庫周辺清掃の実施	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年

1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の平成24年度係数0.516kg-CO2/kwh

2) 有害化学物質の使用はありません。

3) 都市ガスと灯油は発生比率が低く(1%未満)、またCNG(圧縮都市ガス)はテスト用のため目標設定しない。

作成日：平成29年 4月28日

作成者：青山勝征

4. 環境活動計画（平成29年 4月～平成30年3月）

(1) 二酸化炭素排出量の削減取組

① 軽油使用量の削減

- ・デジタコの活用によるエコドライブ活動
- ・車輛点検・整備の励行、空気圧の管理
- ・不要物を積載しない

② 電気使用量の削減

- ・昼休みの消灯、不要時の消灯
- ・ブラインドや日よけの活用
- ・帰宅時は、パソコン・プリンターは電源をOFFにし、コピー機は待機モードにする。
- ・空調は、夏27度、冬23度に設定する。

(2) 廃棄物の削減・リサイクルの取組

一般廃棄物

- ・資源ゴミと可燃ごみの分別の徹底
- ・裏紙の使用

産業廃棄物

- ・物流資材を丁寧に扱う
- ・分別の徹底によりリサイクルの推進

(3) 水使用量の削減への取組

- ・水の流しっぱなし作業をしない
- ・ストッパー付ガンで洗車する

(4) グリーン購入の促進

- ・エコマーク事務用品の調査及び優先購入

(5) 運送・運搬の環境配慮（安全・エコ活動の推進）

- ・車両毎燃費目標設定
- ・トラックセーフティラリー全台参加

(6) 社会貢献活動等

- ・会社周辺の清掃活動

5. 環境目標の実績

	基準年	目標	実績	目標比	結果	今後
環境負荷	平成27年4～ 平成28年3月 実績	平成29年4～ 平成30年3月 2%削減	平成29年4～ 平成30年3月	増減 %	OX	平成30年4～ 平成31年3月 3%削減
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2(kg-CO2/百万円)	1,235,637 2,481	1,210,924 2,431	1,133,053 2,266	▲6.4 ▲6.8	○ ○	1,198,568 2,407
エネルギー 電氣使用量(kwh)	40,266	39,461	40,801	△3.4	×	39,058
軽油使用量(L)	462,467	453,218	386,236	▲14.8	○	448,593
一般廃棄物排出量(kg)	735	720	796	△10.6	×	713
産業廃棄物(kg)	6,735	6,600	5,166	▲21.7	×	6,533
水の使用量(m3)	907	889	1,041	△17.1	×	880
グリーン購入の推進(品目数)	運用	運用	運用	実施	○	運用
運送・運搬の環境配慮	安全・エコ活動実施	安全・エコ活動実施	安全・エコ活動実施	実施	○	安全・エコ活動実施
会社周辺の清掃活動 (2回/年)	1回/6ヶ月	1回/6ヶ月	平成29年6月17日 平成29年12月16日	100%	○	1回/6ヶ月

6. 環境活動計画の取り組み結果と評価、今後の取組

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	実施結果	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減		
デジタコの活用によるエコドライブ活動	◎	画像チェックまで出来た。設備更新検討。
車両点検・整備の励行、空気圧	◎	オイル交換・エレメント交換は問題無く実施
不要物を積載しない	○	外から見て分かる車両が少しある。
電気使用量の削減		
昼休みの消灯、不要時の消灯	◎	問題なく、引き続き継続
ブラインドや日よけの活用	◎	問題なく、引き続き継続
帰宅時は、パソコン・プリンターは電源をOFFにし、コピー機は待機モードに。	◎	問題なく、引き続き継続
空調は、夏は27度、冬は23度	○	冷え込んだ日は、設定より強めでした
廃棄物の削減・リサイクルの取組		
一般廃棄物		
資源ゴミと可燃ゴミの分別の徹底	◎	ドライバーの弁当ゴミが多く、後分別は難しい
裏紙の使用	◎	問題なく、引き続き継続
産業廃棄物		
物流資材を丁寧に扱う	○	パレット、パレティーナ等。
分別の徹底によりリサイクルの推進	◎	分別が出来ている。
水使用量の削減		
洗車時は、水の出っぱなし厳禁	◎	問題なく、引き続き継続
グリーン購入の促進		
エコマーク事務用品の優先購入	◎	問題なく、引き続き継続
リトレットタイヤの積極的な活用	◎	問題なく、引き続き継続
社会貢献活動		
会社周辺の清掃活動	◎	問題なく、引き続き継続

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

評価日:平成30年 4月20日

評価者:青山勝征

適用法令等	該当する規制	遵守項目	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の収集運搬基準	書面の備付け・表示	○
	産業廃棄物の適正処理(処理業者への委託)	委託契約書	
	産業廃棄物管理表(マニフェスト)交付	5年間保存	
	管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書	
道路運送車両法	所有車両の法定点検(車検)	車両分解整備記録簿	○
	所有車両の定期点検(3ヶ月点検)	整備記録簿	
	所有車両の日常点検	点検シート	
道路交通法	積載重量の遵守	積載重量	○
	飲酒運転の禁止	アルコールチェック	
貨物自動車運送事業法	一般貨物自動車運送事業	緑ナンバー	○
自動車NOx-PM法	型式規制(排出基準)適合車	車検証	○
消防法	危険物取扱者の届出、施設の定期点検	届出及び点検記録	○
浄化槽法	保守点検基準の遵守	点検結果	○
愛知県民の生活環境保全条例	アトリングストップの社員教育義務	会議にて説明	○
	500㎡以上駐車場利用者へのアトリングストップ周知	看板設置	○
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	リサイクル料金の支払い	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	リサイクル券購入	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの修理・廃棄時は登録業者に委託	工程管理票	○
	フロン漏れ点検実施	簡易点検表	○
水質汚濁防止法	洗車時の油分漏洩防止のため油水分離設備の設置	事故時、監督官庁への報告	○

環境関連法規への違反行為はありません。 また、関係する当局から違反。訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者の全体評価と見直し結果

平成30年 4月27日
代表者：青山勝征

1. 見直しに必要な情報

- ・環境目標の達成状況
- ・環境活動計画の実施及び運用結果
- ・環境法令等の遵守状況
- ・外部からの環境に関する苦情や要望等
- ・前回の指示への取組結果

2. 変更の必要性

環境方針	○不要	・	要
環境目標	○不要	・	要
環境活動計画	○不要	・	要
環境経営システム	○不要	・	要

[変更の理由]

3. 評価結果及び指示事項

電気はほぼ横ばい、一般廃棄物は目標よりは多いが昨年より大幅に改善してきている。水は、クーリングタワーの水漏れと2回にわたる洗車ガンの故障に伴う物であり、既に交換済みのため問題ない。
引き続き、電気と一般廃棄物は注視していく。